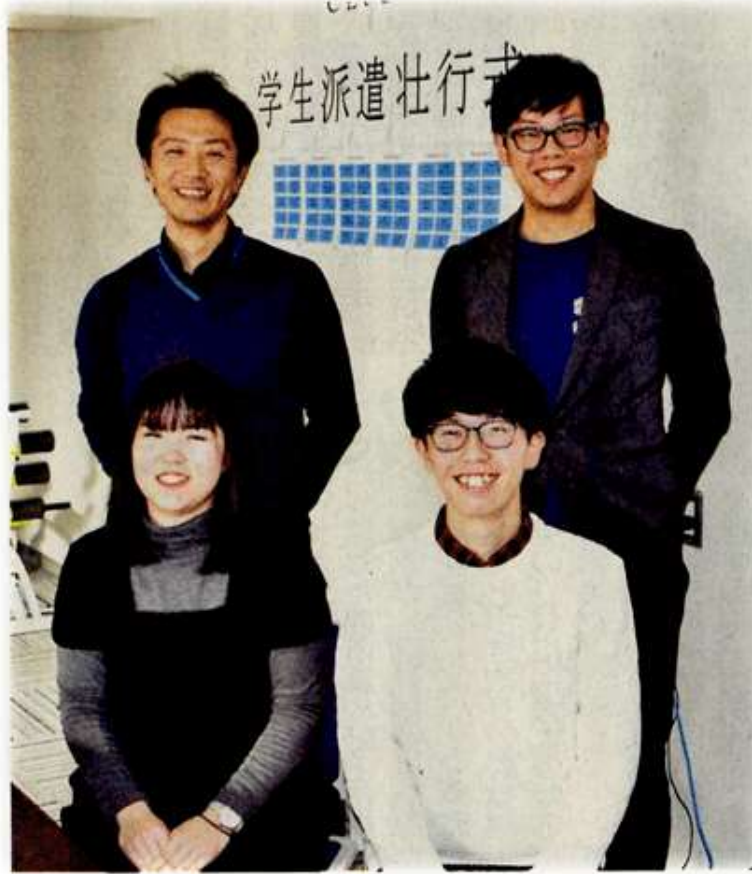


デーリー東北  
2019年(令和元年)12月8日(日曜日)(3)

# 青森県内IT企業が支援 家電見本市に学生派遣

## 若手育成、来月渡米へ



CESに赴く(前列右から時計回りに)沼沢貴大さん、宮古沙紀さん、岡本信也さん、立花拓也さん。7日、八戸市

青森県内のIT企業を中  
心とした10社が、米ラスベ  
ガスで来年1月に開かれる  
世界最大規模の家電見本市  
「CES」に大学生を派遣  
する。若手人材の育成と地  
元企業の取り組みをPRす  
る狙いがあり、昨年に続く  
派遣。企業の支援を受けた

学生は現地で人工知能(AI)や仮想現実(VR)などの最先端技術に触れる。派遣されるのは青森公立大経営経済学部地域みらい学科2年の宮古沙紀さん(20)と、八戸高専電気情報工学コース4年の沼沢貴大さん(18)。

7日、アイティコワークの事務所で行われた壮行式に臨んだ宮古さんは取材に「ドローンや空飛ぶ自動車の技術に興味がある。自分の視野を広げられれば」と胸を躍らせ、沼沢さんは「特にスマートフォンに関心がある。この地域でも発展させられる技術だから」と抱負を語った。

立花さんは「会社側としても若い人の考え方を知る機会になるし、私たちの考えも知ってもらえる」と派遣の意義を強調。岡本さんは「CESで得た刺激を地域のの人に伝えてほしい」と期待した。

CESは1月7～10日。一行は8日に日本を出発し、13日に帰国する。

(齋藤桂)